

# 収益の状況

## 基礎利益

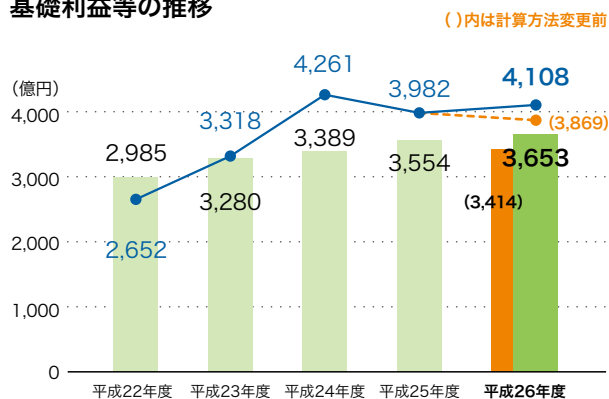
▶ P.140

# 4,108億円

平成26年度の基礎利益は4,108億円、変額年金保険に係る標準責任準備金の影響を除いた実質的な基礎利益は3,653億円となりました。

平成26年度決算より、当社の収益力をより適切に開示する観点から、基礎利益の計算方法を変更していますが、計算方法変更前・変更後いずれをみても3,000億円を大きく上回る水準を確保しており、引き続き堅調に推移しています。

### 基礎利益等の推移



※折線グラフは基礎利益を表しています。

※棒グラフは、変額年金保険に係る標準責任準備金の繰入額・戻入額を除いた実質的な収益水準を表しています。

※平成26年度決算より、個人年金保険の年金開始後契約の一部および第三分野保険の一部について、前年度以前に追加して積み立てた責任準備金からの戻入額を基礎利益に含めています。この変更により、基礎利益は239億円増加しています。

### 経常利益等の状況(基礎利益の状況)

(単位:億円)

| 区分                       | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------------------------|--------|--------|
| 基礎利益 (A)                 | 3,982  | 4,108  |
| うち保険料等収入                 | 25,042 | 25,795 |
| 利息及び配当金等収入               | 5,448  | 5,539  |
| うち保険金等支払金                | 22,135 | 23,025 |
| 変額年金保険に係る標準責任準備金繰入(△は戻入) | △427   | △455   |
| 事業費                      | 3,363  | 3,256  |
| キャピタル損益 (B)              | △1,123 | △1,189 |
| 臨時損益 (C)                 | △421   | △653   |
| 経常利益 (D=A+B+C)           | 2,436  | 2,265  |
| 特別利益 } (E)               | 92     | 50     |
| 特別損失 }                   | △857   | △397   |
| 税引前当期純剰余                 | 1,672  | 1,917  |
| 法人税及び住民税 } (F)           | 659    | 608    |
| 法人税等調整額 }                | △276   | △42    |
| 当期純剰余 (G=D+E-F)          | 1,289  | 1,352  |

### (ご参考)基礎利益の内訳(三利源)

(単位:億円)

| 区分            | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|
| 基礎利益          | 3,982  | 4,108  |
| 保険関係差益        | 4,139  | 4,027  |
| うち死差益         | 3,344  | 3,305  |
| うち費差益         | 820    | 493    |
| 順ざや額 (△は逆ざや額) | △157   | 81     |

## 経常利益

▶ P.140

# 2,265億円

基礎利益(A)にキャピタル損益(B)、臨時損益(C)を加えた経常利益(D)は2,265億円となりました。

## 当期純剰余

▶ P.128

# 1,352億円

経常利益(D)に、特別利益・特別損失(E)を加え、法人税及び住民税・法人税等調整額(F)を控除した当期純剰余(G)は1,352億円となりました。

### 住友生命とメディケア生命の実績

主要項目については、子会社のメディケア生命保険株式会社との合算値を開示しています。

(単位:億円)

| 区分            | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|
| 保有契約年換算保険料    | 21,969 | 21,822 |
| 新契約年換算保険料     | 1,310  | 1,402  |
| 解約+失効契約年換算保険料 | 1,060  | 882    |

(単位:億円)

| 区分                                    | 平成25年度           | 平成26年度           |
|---------------------------------------|------------------|------------------|
| 基礎利益<br>(変額年金保険に係る標準責任準備金の影響を除いた基礎利益) | 3,939<br>(3,512) | 4,050<br>(3,595) |

## 収益の状況

### 逆ざや・順ざやの状況

平成26年度は逆ざやが解消し、81億円の順ざや(前年度比238億円改善)となりました。

ALM推進の観点から超長期債を積み増す等の資産運用面での取組みに加え、年金開始後契約の責任準備金の積増し\*等による平均予定利率の低下により、逆ざやは着実に改善してきました。これらに加え、平成26年度は、収益

向上の観点から積み増してきた外国債券の利息収入が円安進行により増加したこと等により、順ざやに転じました。

\*平成18年度決算より、毎年新たに年金支払いを開始する個人年金保険契約については、原則として、年金開始時点での標準基礎率(平成8年大蔵省告示第48号に定める予定死亡率・予定利率)を適用し、責任準備金を積み増すこととしています。この積増しには、平均予定利率を低下させ、逆ざやを改善させる効果があります。

### 順ざや額の算出方法

|      |   |  |       |            |
|------|---|--|-------|------------|
| 順ざや額 | = | $\left( \begin{array}{c} \text{基礎利益上の} \\ \text{運用収支等の利回り} \end{array} \begin{array}{c} *1 \\ - \end{array} \begin{array}{c} \text{平均} \\ \text{予定利率} \end{array} \begin{array}{c} *2 \end{array} \right) \times \begin{array}{c} \text{一般勘定} \\ \text{責任準備金} \end{array} \begin{array}{c} *3 \end{array}$ |       |            |
| 81億円 |   | 2.61%  | 2.57% | 20兆3,021億円 |

- \*1. 基礎利益に含まれる一般勘定の運用収支から社員配当金積立利息繰入額を控除したものの一般勘定責任準備金に対する利回り
- \*2. 予定利息の一般勘定責任準備金に対する利回り
- \*3. 危険準備金を除く一般勘定部分の責任準備金について、次の方式で算出  
(期始責任準備金+期末責任準備金-予定利息)×1/2

### 個人年金保険契約での責任準備金積増しのイメージ図(予定利率5%の契約のケース)



- \*年金開始時点の標準利率(平成8年大蔵省告示第48号に定める予定利率)  
平成24年度以前に年金開始した契約については、1.5%を適用しています。

## 平成26年度決算に基づく社員配当金について

### P.122

ご契約者さまへの社員配当金については、単年度および将来の収益状況や内部留保の水準等を踏まえ安定的に還元を行うこと、内部留保によるリスク対応力強化とご契約者さまへの還元の充実についてのバランスをとること

等を基本的な考え方としています。

この考え方に基づき、平成26年度決算に基づく社員配当率は以下のとおりとしています。

#### 個人保険、個人年金保険

利差益配当率について増配としました。  
その他の配当率については据置きとしました。

#### 団体保険

配当率は原則として据置きとしました。

#### 団体年金保険

<新企業年金保険、厚生年金基金保険及び確定給付企業年金保険(O2)等>

配当率は、予定利率0.75%又は1.25%(解約控除あり)に対する責任準備金に対して0.13%としました。

<拠出型企業年金保険(O2)>

配当率は、予定利率1.25%に対する責任準備金に対して0.24%としました。

(注) 新単位口別利率設定特約部分の責任準備金は含みません。